

校長室から

学校教育目標

　　「知・徳・体、調和のとれた生徒の育成」

　　　　　　　～進取的な努力をする人材の育成～

令和5年3月14日　第50号

卒業証書授与式式辞

　第７６期生のみなさん、卒業おめでとうございます。

　振り返れば、臨時休業中での入学式から、久米田中学校の生活は、はじまりました。進路に向けた面接練習の際に「臨時休業中は、どんな気持ちでしたか」とたくさんの人に聞きました。ほとんどの人が「友達できるかな」とか「勉強どうなるんやろ」といった不安を抱えて過ごしていたようです。

　みなさんが久米田中学校で過ごした三年間は、歴史に残る世界中が感染症と戦った日々と重なります。ワクチンの開発や医療体制の構築など、感染症を克服するため世界中の人が、それぞれの立場で格闘していました。

　みなさんもそうです。マスクが当たり前の生活になり、給食の時の黙食も日常になりました。しかし、ようやく終息が見えてきました。

　保護者のみなさん、３年間、久米田中学校の教育活動に多大なご支援ご理解ご協力賜りました。また、PTA会長の藤本様はじめPTA活動にご協力いただきました、関係者みなさん、来賓としてご招待できませんでしたが地域で様々な取り組みをされている関係者各位様、本当にありがとうございました。

　高いところからではありますが、感謝申し上げます。

さて、世界は今、激動の時代に突入しています。車が空を飛ぶようになります。バスが運転手なしでお客さんを目的地に連れていきます。ドロ－ンがトラックにかわって荷物を運びます。どんな外国語も一瞬にして翻訳するAIも日々進化を続けています。一説によれば、今ある仕事の半分以上がロボットに置き換わるとも言われています。

　一方、SNSなどで世界じゅうの人とつながれるようになりました。

　これからは、世界の人々とあらゆる障壁を乗り越えて、かかわっていくことが求められます。

　そのために久米田中学校で培った７６期生独特の優しさやひたむきさを礎にして、日々自分自身を鍛えていってください。

　久米田中学校には、昔から5つの校訓があります。その中の一つを皆さんと確認して、私の式辞としたいと思います。

　校訓「いつも進取的な努力をしよう」。

　令和５年３月１４日　校長　田中　裕雄